

ラグビーワールドカップ2019™釜石開催 円滑な観客輸送を実現

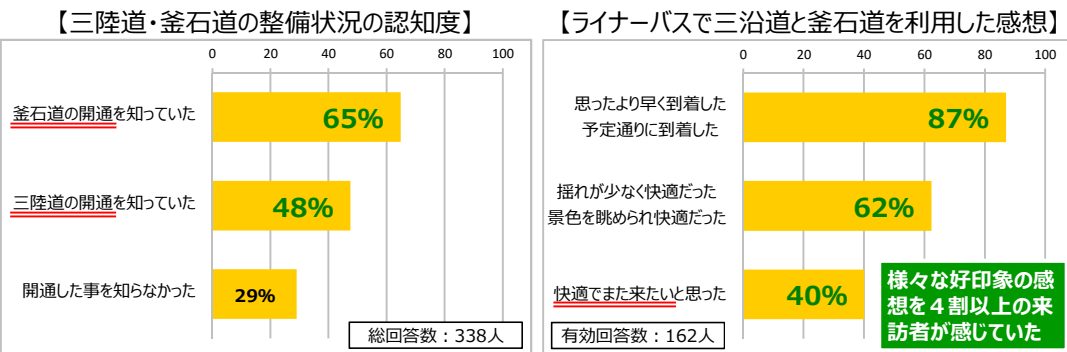
- ◆大会当日は約1.4万人が来場、事前登録の「バス輸送システム」を約半数の7千人が利用して、復興道路等を通行し滞りなく送迎。
- ◆三陸道・釜石道の開通は、約5～7割の方が認識しており、「早く到着した」等、三陸沿岸地域の近さを実感する声が寄せられた。
- ◆大会当日の交通量は平日とほぼ同等で、高規格道路と並行国道が適切に分担してバス輸送を支え、円滑な観客輸送が実施された。

■ 来場者数及びライナーバス等の乗車数

資料：岩手県文化スポーツ部ラグビーワールドカップ2019推進室 提供



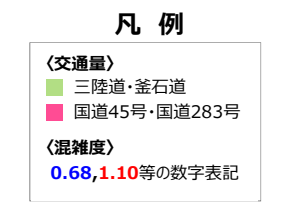
■ 来場者の道路整備状況への認知度・道路を利用した感想



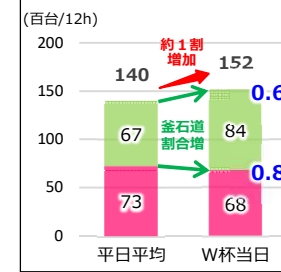
出典：復興道路・復興支援道路に関するアンケート調査結果 (南三陸国道事務所)

■ 三陸道と釜石道、並行国道の交通量

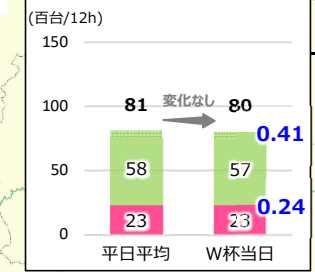
※12時間交通量 (7時～19時)
W杯当日：R1.9.25(水)
平日平均：R1.9.24(火)・26(木)の2日間平均



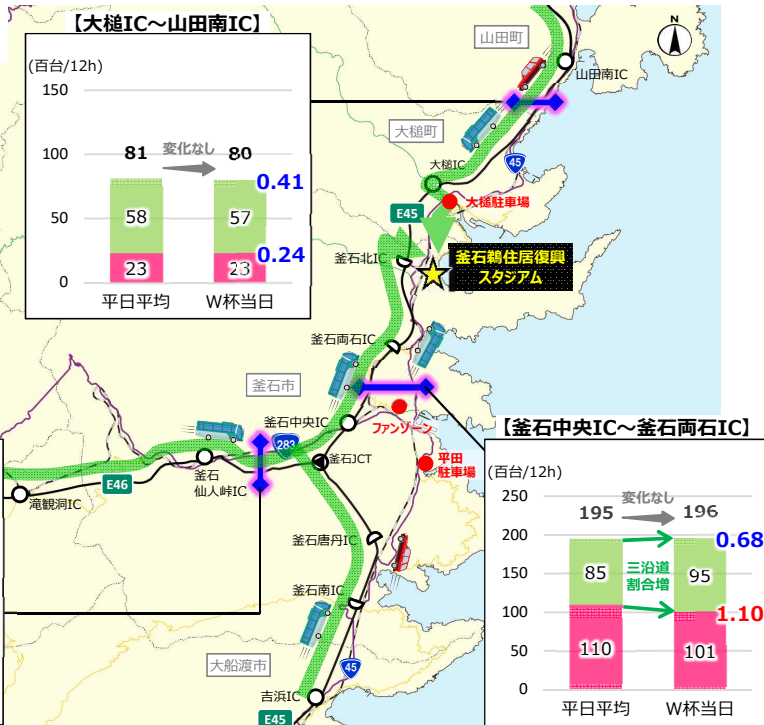
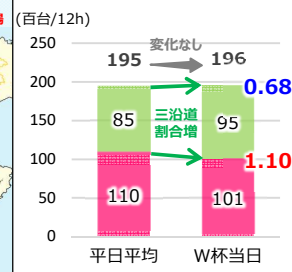
【釜石JCT～釜石仙人峠IC】



【大槌IC～山田南IC】



【釜石中央IC～釜石両石IC】

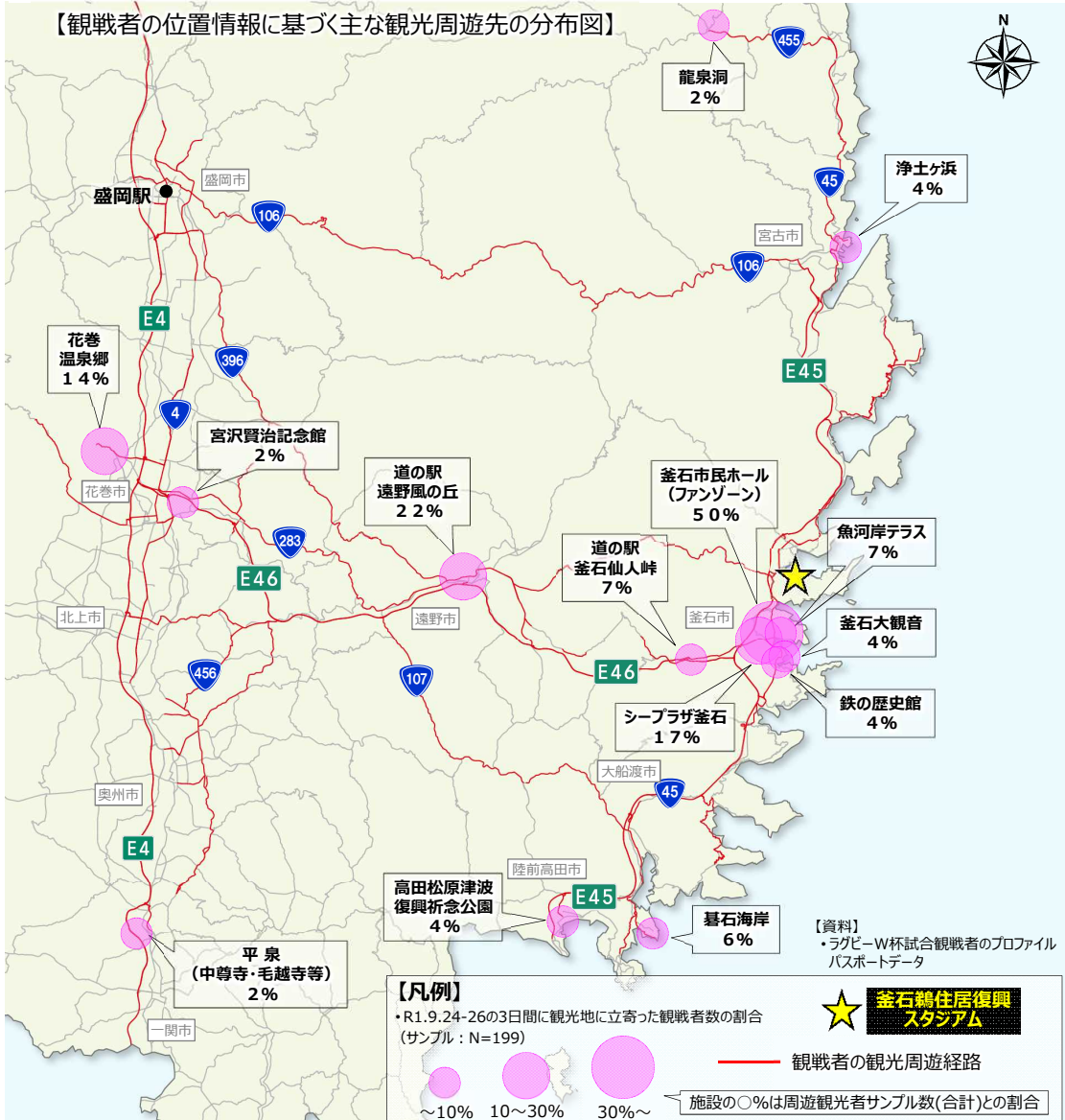


ラグビーワールドカップ2019™釜石開催 周遊観光の状況

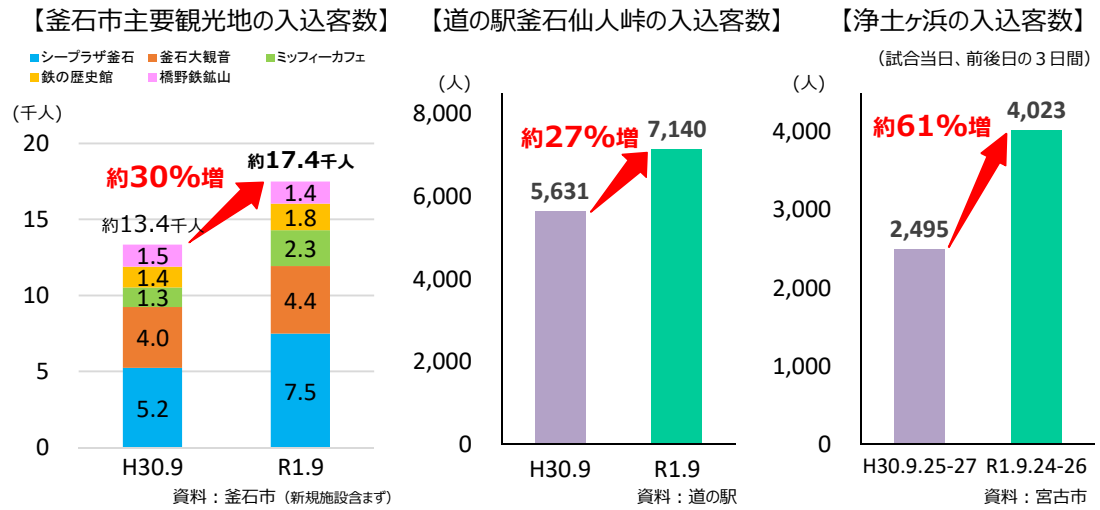
- ◆ラグビー観戦者は釜石市内の観光の他、浄土ヶ浜や碁石海岸、花巻温泉や平泉等を広く立ち寄り、周遊は復興道路等を利用。
- ◆開催月の観光地の入込客は、釜石市街地や道の駅で前年比約30%の増加、浄土ヶ浜で約60%の増加であった。
- ◆「快適でまた来たい」とリピート観光の感想の他、観戦以外の動機では「復興した姿を見たい・盛り上げたい」など復興支援の関心が高い。

■ワールドカップ観戦者の試合当日、前後日に訪れた観光地

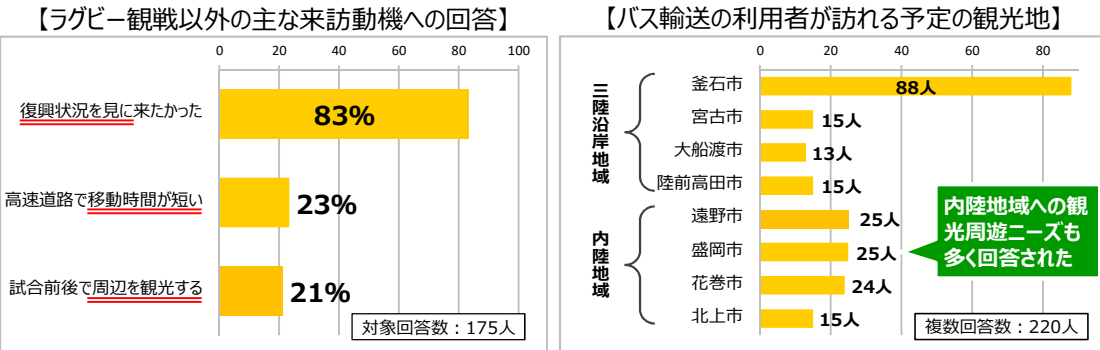
【観戦者の位置情報に基づく主な観光周遊先の分布図】



■ワールドカップ開催時における観光施設の入込客増加



■ワールドカップ観戦を契機とした来訪の動機付け・移動時の感想



出典：復興道路・復興支援道路に関するアンケート調査結果 (南三陸国道事務所) 道の駅 遠野風の丘での立ち寄り休憩

《 動機や感想の自由意見など 》

- 釜石や鶴住居スタジアムに向けて、頑張った方々を応援したかった。
- 釜石を盛り上げたかったから。
- 適宜なトイレ休憩に感謝。
- ※「快適でまた来たいと思った」などリピート観光客が期待できる感想も多く寄せられた。